

令和3年(2021年)7月26日
滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課

琵琶湖でのアオコの発生について(第1号)

令和3年7月26日(月)10時15分頃、滋賀県琵琶湖保全再生課の職員が守山市赤野井地先で、今年初めてのアオコの発生を確認しました。県琵琶湖環境科学研究センターがプランクトンを同定・計数したところ、その結果は下記のとおりでした。

アオコは、昭和58年(1983年)に琵琶湖で初めて発生が確認されて以来、昭和59年(1984年)および平成26年(2014年)を除いて毎年発生が確認されています。

今後のアオコ発生状況は原則として、県HP「今日の琵琶湖」において情報提供していく予定です。(滋賀県HPトップページ→県民の方→環境・自然→琵琶湖→お知らせ注意→琵琶湖水質調査結果・今日の琵琶湖

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/300014.html>

記

アオコの発生状況

発生場所	確認日時	規模	レベル	水温(°C)	構成プランクトン (群体数/ml)
赤野井地先 (守山市赤野井町)	7月26日 10時15分	5m× 30m	4	32.1	ミコトシズメ属 300 アハベナ属 96,000

〈参考〉

レベル4：水表面を膜状にうっすらとアオコが覆う。

レベル5：水表面に厚くマット状にアオコが覆う。

レベル6：アオコが腐敗し、浮き滓状になって湖面を覆い、腐敗臭を発する。



赤野井地先で確認されたアオコ